

平成31年度 年間授業計画

- 1 学年・科目・単位数
第3学年 地学基礎 2単位
- 2 担当教員
- 3 教科・科目のねらい
地学の概念や原理・法則を理解する過程で、科学的な見方や考え方を養う。
- 4 年間授業計画

学期	単元（授業内容／時間）	重点項目	評価の観点
1	序編 惑星としての地球 1編 活動する地球 ①地球の構造 ②プレートの運動 ③地震と地殻振動 ④火山 2編 移り変わる地球 ①地層の形成 ②古生物の変遷と地球環境 （全28時間）	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽系に含まれる天体の成り立ちを理解する。 ・地球の形や大きさ、内部構造を理解する。 ・プレートの運動を理解する。 ・地殻変動や火山活動の原理を理解する。 ・岩石の種類や成因、性質を理解する。 ・地層の形成過程を理解する。 ・地球環境の変化が生物に及ぼす影響を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・概念を理解できているか。 ・地学に関心を持ち、意欲的に探究する態度をもって授業に臨めたか。 ・実験結果を量的に把握・整理し、考察できたか。 ・発言、発表を意欲的にしているか。
2	3編 大気と海洋 ①地球の熱収支 ②大気と海水の運動 4編 地球の環境 ①地球環境の科学 ②日本の自然環境 （全30時間）	<ul style="list-style-type: none"> ・大気層構造、圧力、組成が及ぼす影響を理解する。 ・気象現象の原理を理解する。 ・環境問題の原因を理解する。 ・日本で多く見られる自然災害と、その原理を学び、対策を考える。 	
3	5編 宇宙の構成 ①太陽と恒星 ②宇宙のすがた （全12時間）	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽の仕組みを理解する。 ・宇宙の構造と進化を理解する。 	

- 5 使用教科書・副教材他
新編 地学基礎 小川勇二郎（ほか15名）著 （数研出版）
- 6 評価方法・観点

成績算出に当たっては定期考査の素点を重視するが、平常点も加える。平常点は授業態度、意欲、発言・発表、授業ノート、小テスト、実験プリント、その他提出物、出席状況などを総合的に考慮して算出する。

※なお、上記は予定であり、行事等により一部変更になることがある。